



青年塾スプリングセミナーに参加して

～学びから実践に進化する青年塾～

先月の16日～17日、「**学びから、実践へ**」。上甲先生が22年間主宰されてきた『青年塾』をもう一段深化・進化させることを願い、初めての「スプリングセミナー」が山口県宇部市で開催されました。

この日集まった『青年塾』の現役塾生とOB、そして志ネットワークの会員も含め176人。初めてのスプリングセミナーには、上甲先生の強い思い入れがあり、「**学びの青年塾から、実践の青年塾に進化**」を象徴する行事としてスタートしたのでした。

上甲先生は、私共が9年間継続してきた「**当たり前グランプリ**」の結果発表会に毎年参加されて、**改めて継続の力の偉大さと発表の場の必要性を感じ、「世のため人のためになる実践活動を起こし、その思いと取り組みの経過を発表し合う**」ことの大事さに気づかれ、ヒントになったということで、今回私にも活動報告の依頼がありました。

そもそも「**当たり前グランプリ**」は2008年8月、アメリカで起きたリーマンショックの影響が我々地方の中小企業にも押し寄せていたそんな時期に、上甲先生から「松下幸之助に学ぶ～底力を養おう」のご講話をいただいたのが始まりでしたので「喜んで!!」と、青年塾10期生の（寒河江市在住の）株式会社多田の多田丈弘社長さんに、事例発表をお願いし同行してもらいました。

私共の会計事務所のこの向日葵だよりで「**競い合いながら、当たり前前のごことを徹底的に実践してみませんか**」と発信、クライアントの会社中心に呼びかけましたところ、8社の賛同がありました。各社には早速「**会社で取り組む当たり前テーマ**」を決めてもらい、方法、仕組など吟味する暇もないままのキックオフとなった次第でした。そして、一年後結果発表会へ先生においでいただいた際、「**どんなことでも始めた限りは、10年継続しないと本物になれない**」とのご講評があり、想定を超えた「**10年かけて富士山の頂上を目指す**」こととなったのでした。その時には「**えっ？10年も続けるのか…**」と正直驚き戸惑いましたが、上甲先生の激励の言葉があったから今があり、宝物をいただいたと心より感謝しております。

多田社長さんからは、「**当たり前グランプリ**」に取り組んだ結果、革新的な介護業を目指す会社は「**してあげる介護**」から「**自立できる介護**」への業態変化に成功された成果の報告があり、セミナー会場の多くの方々は大変驚かれていました。



(株)多田さんの当たり前前グランプリ



ところで、この「**当たり前前グランプリ**=社内風土改革運動」を一段と進化させ、地域全体に拡げていき、お客様・社員・家族と関わる全ての人の幸せに繋げていきたいと思い、**2018年3月一般社団法人化**いたしました。「**底力を養って良い会社を!!**」を合言葉に、これからも多くの参加企業の方々と切磋琢磨していきたいと思っています。

黒沼 範子